

令和6年度 学校評価 について

学校評価は、学校運営や教育活動について重点目標を設定し、その達成状況や取り組みの適切さを評価することにより、組織的、継続的な改善を図ることを目的としています。

本校では、毎年4月から5月にかけて重点目標と評価項目を学校評価委員会にて決定し、その内容に沿った教育に取り組んでいます。令和5年度は、年間2回（8月、1月）教員による自己評価を行い、さらに保護者の皆様を対象にしたアンケート調査（1月）を実施いたしました。保護者については690名（在籍の約50%）の方からご回答を頂戴いたしました。

その集計結果を受けて考察・分析し、令和7年3月12日には、PTA役員様ご出席のもと、学校関係者評価委員会を開催いたしました。

以下に、委員会等を経てまとめた資料を掲載いたします。

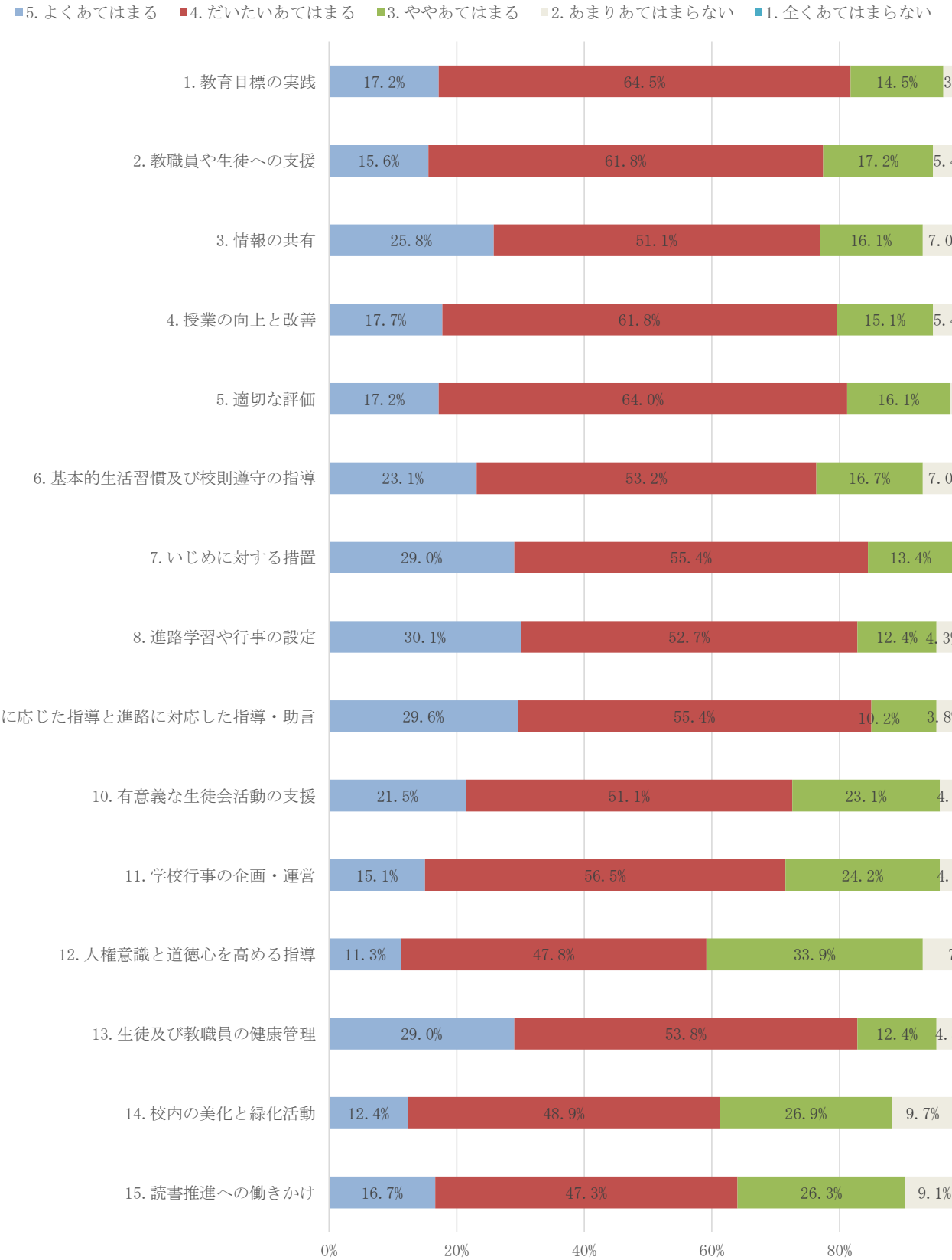
目 次

- 2頁 教員自己評価の結果 【教職員：平均】5段階評価値とグラフ
- 3頁 保護者アンケートの結果 【保護者：全学年】5段階評価値とグラフ
- 4頁 学校評価集計結果の考察概要

令和6年度 学校評価【教職員：平均】

教育目標	人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。							
教育方針	(1) 個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性や進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。							
	(2) 自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。							
	(3) 人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的な生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。							
5：よくあてはまる 4：だいたいあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない								
評価項目		5	4	3	2	1	平均	
学校運営	1 生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組み、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	平均	17.2%	64.5%	14.5%	3.8%	0.0%	4.0
		1回目	19.4%	63.4%	14.0%	3.2%	0.0%	4.0
		2回目	15.1%	65.6%	15.1%	4.3%	0.0%	3.9
	2 問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	平均	15.6%	61.8%	17.2%	5.4%	0.0%	3.9
		1回目	18.3%	62.4%	12.9%	6.5%	0.0%	3.9
		2回目	12.9%	61.3%	21.5%	4.3%	0.0%	3.8
	3 各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	平均	25.8%	51.1%	16.1%	7.0%	0.0%	4.0
		1回目	26.9%	52.7%	15.1%	5.4%	0.0%	4.0
		2回目	24.7%	49.5%	17.2%	8.6%	0.0%	3.9
学習指導	4 教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開している	平均	17.7%	61.8%	15.1%	5.4%	0.0%	3.9
		1回目	22.6%	61.3%	11.8%	4.3%	0.0%	4.0
		2回目	12.9%	62.4%	18.3%	6.5%	0.0%	3.8
	5 学習について教員が生徒を適切に評価している	平均	17.2%	64.0%	16.1%	2.7%	0.0%	4.0
		1回目	23.7%	58.1%	15.1%	3.2%	0.0%	4.0
		2回目	10.8%	69.9%	17.2%	2.2%	0.0%	3.9
生徒指導	6 基本的な生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	平均	23.1%	53.2%	16.7%	7.0%	0.0%	3.9
		1回目	28.0%	48.4%	14.0%	9.7%	0.0%	3.9
		2回目	18.3%	58.1%	19.4%	4.3%	0.0%	3.9
	7 いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	平均	29.0%	55.4%	13.4%	2.2%	0.0%	4.1
		1回目	31.2%	52.7%	12.9%	3.2%	0.0%	4.1
		2回目	26.9%	58.1%	14.0%	1.1%	0.0%	4.1
進路指導	8 計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	平均	30.1%	52.7%	12.4%	4.3%	0.5%	4.1
		1回目	35.5%	48.4%	10.8%	4.3%	1.1%	4.1
		2回目	24.7%	57.0%	14.0%	4.3%	0.0%	4.0
9 個々の適性や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができています	平均	29.6%	55.4%	10.2%	3.8%	1.1%	4.1	
	1回目	36.6%	48.4%	10.8%	2.2%	2.2%	4.2	
	2回目	22.6%	62.4%	9.7%	5.4%	0.0%	4.0	
特別活動	10 有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	平均	21.5%	51.1%	23.1%	4.3%	0.0%	3.9
		1回目	25.8%	53.8%	18.3%	2.2%	0.0%	4.0
		2回目	17.2%	48.4%	28.0%	6.5%	0.0%	3.8
	11 生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	平均	15.1%	56.5%	24.2%	4.3%	0.0%	3.8
		1回目	17.2%	54.8%	24.7%	3.2%	0.0%	3.9
		2回目	12.9%	58.1%	23.7%	5.4%	0.0%	3.8
12 学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	平均	11.3%	47.8%	33.9%	7.0%	0.0%	3.6	
	1回目	14.0%	49.5%	29.0%	7.5%	0.0%	3.7	
	2回目	8.6%	46.2%	38.7%	6.5%	0.0%	3.6	
保健衛生	13 感染症防止対策の徹底や安全教室の実施、生徒及び教職員の健康管理に努めている	平均	29.0%	53.8%	12.4%	4.8%	0.0%	4.1
		1回目	31.2%	51.6%	14.0%	3.2%	0.0%	4.1
		2回目	26.9%	55.9%	10.8%	6.5%	0.0%	4.0
環境美化	14 校内の清掃美化と緑化活動に積極的に行っている	平均	12.4%	48.9%	26.9%	9.7%	2.2%	3.6
		1回目	14.0%	48.4%	24.7%	11.8%	1.1%	3.6
		2回目	10.8%	49.5%	29.0%	7.5%	3.2%	3.6
学校図書館	15 適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	平均	16.7%	47.3%	26.3%	9.1%	0.5%	3.7
		1回目	19.4%	46.2%	24.7%	9.7%	0.0%	3.8
		2回目	14.0%	48.4%	28.0%	8.6%	1.1%	3.7
教職員 平均		20.8%	55.0%	18.6%	5.4%	0.3%	3.9	

令和6年度 学校評価【教職員：平均】



令和6年度 学校評価【保護者：全学年】

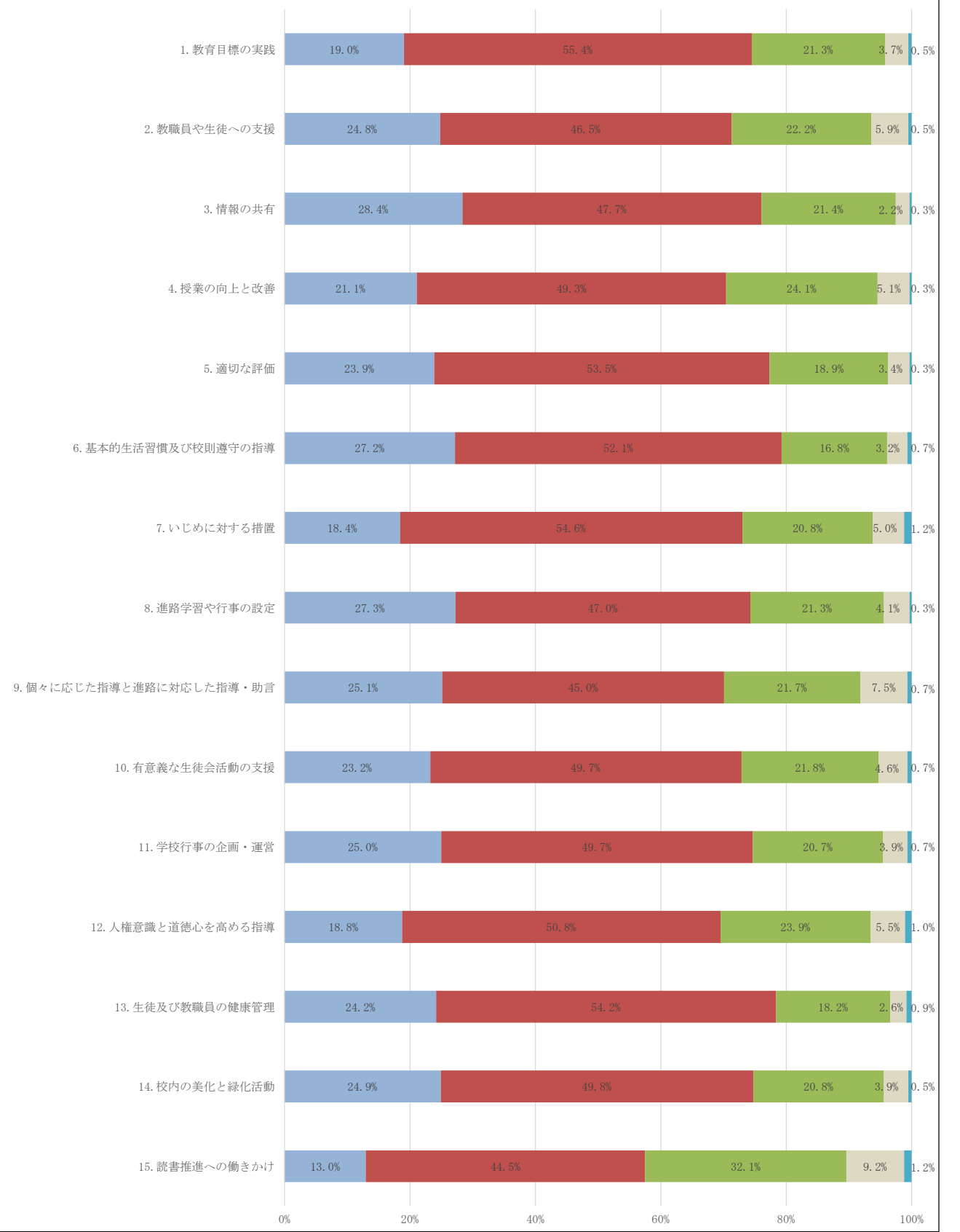
教育目標	人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。
教育方針	(1) 個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性や進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。
	(2) 自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。
	(3) 人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的な生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。

5：よくあてはまる 4：だいたいあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

評価項目		学年	5	4	3	2	1	平均
学校運営	1 生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組み、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	全学年	19.0%	55.4%	21.3%	3.7%	0.5%	3.9
		3学年	21.9%	57.8%	17.2%	1.6%	1.6%	4.0
		2学年	18.7%	54.7%	21.7%	4.4%	0.5%	3.9
	2 問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	1学年	17.9%	54.9%	23.0%	4.3%	0.0%	3.9
		全学年	24.8%	46.5%	22.2%	5.9%	0.5%	3.9
		3学年	31.0%	49.6%	13.2%	4.7%	1.6%	4.0
	3 各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	2学年	21.7%	48.3%	22.7%	6.9%	0.5%	3.8
		1学年	24.1%	43.6%	26.5%	5.8%	0.0%	3.9
		全学年	28.4%	47.7%	21.4%	2.2%	0.3%	4.0
4 教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開している	3学年	28.7%	53.5%	15.5%	0.8%	1.6%	4.1	
	2学年	23.2%	50.2%	23.6%	3.0%	0.0%	3.9	
	1学年	32.3%	42.8%	22.6%	2.3%	0.0%	4.1	
5 学習について教員が生徒を適切に評価している	全学年	21.1%	49.3%	24.1%	5.1%	0.3%	3.9	
	3学年	27.9%	47.3%	22.5%	0.8%	1.6%	4.0	
	2学年	19.8%	51.5%	23.8%	5.0%	0.0%	3.9	
6 基本的な生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	1学年	18.7%	48.6%	25.3%	7.4%	0.0%	3.8	
	全学年	23.9%	53.5%	18.9%	3.4%	0.3%	4.0	
	3学年	27.1%	51.9%	15.5%	3.9%	1.6%	4.0	
7 いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	2学年	20.8%	58.9%	17.3%	3.0%	0.0%	4.0	
	1学年	24.6%	50.0%	21.9%	3.5%	0.0%	4.0	
	全学年	27.2%	52.1%	16.8%	3.2%	0.7%	4.0	
8 計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	3学年	28.7%	53.5%	11.6%	3.9%	2.3%	4.0	
	2学年	25.1%	51.7%	19.2%	3.4%	0.5%	4.0	
	1学年	28.0%	51.8%	17.5%	2.7%	0.0%	4.1	
9 個々の適性や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができています	全学年	18.4%	54.6%	20.8%	5.0%	1.2%	3.8	
	3学年	19.8%	56.3%	15.9%	4.8%	3.2%	3.8	
	2学年	15.9%	57.7%	22.9%	2.0%	1.5%	3.8	
10 有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	1学年	19.6%	51.4%	21.6%	7.5%	0.0%	3.8	
	全学年	27.3%	47.0%	21.3%	4.1%	0.3%	4.0	
	3学年	35.7%	43.4%	17.8%	1.6%	1.6%	4.1	
11 生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	2学年	26.2%	48.0%	19.8%	5.9%	0.0%	3.9	
	1学年	23.8%	48.0%	24.2%	3.9%	0.0%	3.9	
	全学年	25.1%	45.0%	21.7%	7.5%	0.7%	3.9	
12 学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	3学年	38.3%	41.4%	14.1%	4.7%	1.6%	4.1	
	2学年	23.4%	44.8%	23.4%	8.0%	0.5%	3.8	
	1学年	19.9%	46.9%	24.2%	8.6%	0.4%	3.8	
13 感染症防止対策と安全教室、生徒及び教職員の健康管理に努めている	全学年	23.2%	49.7%	21.8%	4.6%	0.7%	3.9	
	3学年	23.4%	51.6%	19.5%	3.9%	1.6%	3.9	
	2学年	24.3%	47.5%	23.3%	4.0%	1.0%	3.9	
14 校内の清掃美化や緑化活動に積極的に行っている	1学年	22.3%	50.4%	21.9%	5.5%	0.0%	3.9	
	全学年	25.0%	49.7%	20.7%	3.9%	0.7%	3.9	
	3学年	26.4%	51.9%	16.3%	3.9%	1.6%	4.0	
15 適切な図書との購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	2学年	24.1%	50.2%	21.7%	3.4%	0.5%	3.9	
	1学年	25.0%	48.0%	22.3%	4.3%	0.4%	3.9	
	全学年	18.8%	50.8%	23.9%	5.5%	1.0%	3.8	
保健衛生	3学年	21.3%	51.2%	18.9%	6.3%	2.4%	3.8	
	2学年	17.0%	52.5%	26.0%	3.0%	1.5%	3.8	
	1学年	18.9%	49.2%	24.8%	7.1%	0.0%	3.8	
環境美化	全学年	24.2%	54.2%	18.2%	2.6%	0.9%	4.0	
	3学年	26.6%	53.1%	14.8%	3.1%	2.3%	4.0	
	2学年	26.1%	52.7%	17.7%	2.5%	1.0%	4.0	
学校図書館	1学年	21.5%	55.9%	20.3%	2.3%	0.0%	4.0	
	全学年	24.9%	49.8%	20.8%	3.9%	0.5%	3.9	
	3学年	27.9%	48.1%	17.8%	3.9%	2.3%	4.0	
学校図書	2学年	22.0%	49.5%	24.5%	4.0%	0.0%	3.9	
	1学年	25.7%	51.0%	19.5%	3.9%	0.0%	4.0	
	全学年	13.0%	44.5%	32.1%	9.2%	1.2%	3.6	
学校図書	3学年	16.4%	44.5%	33.6%	3.9%	1.6%	3.7	
	2学年	13.9%	42.1%	34.7%	7.9%	1.5%	3.6	
	1学年	10.5%	46.5%	29.3%	12.9%	0.8%	3.5	
全学年 平均			23.0%	49.9%	21.7%	4.7%	0.7%	3.9

令和6年度 学校評価【保護者：全学年】

■5.よくあてはまる ■4.だいたいあてはまる ■3.ややあてはまる ■2.あまりあてはまらない ■1.全くあてはまらない



令和6年度 学校評価集計結果の考察概要

学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組む、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	約81%の教員、約74%の保護者が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を選択している。教員と保護者との間に感じ方の差があるようだ。教員としては個性を伸ばす教育に取り組んでいる者が多いが、保護者には伝わりきっていないところがあると思われる。また、保護者のコメントに「教員によって差がある」といったものも見受けられた。スクールポリシーをもとに教職員が同じ意識を持ち、教育活動を展開しなければならない。また、現職教育の機会を増やし、教職員の意識や理解の差を埋める機会を少しずつ増やしていきたい。
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	様々な問題や悩みを抱えている生徒に対して、担任だけではなく学年団や管理職と情報を共有して対応している。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにもサポートをお願いしているが、内容が多岐にわたる根深い問題も多く、解決には時間が必要である。「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせると教職員・保護者ともに7割を越えている。ただ、「あまり当てはまらない」と答えた保護者が各学年とも6%近く確認できており、何らかの不满があることが窺える。今後も教職員がチームとして対応していく中で、保護者と連携して生徒へのサポートを行っていききたい。
	3	各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	ふだんの学校の様子や生徒の活動については、ホームページやSNSを通じてその都度発信しているが、保護者向けには、月末毎に校務支援システム「ツムギノ」でお知らせしている。また、例年、英明祭や懇談会などで保護者が来校される機会もあるが、今年度は、体育祭の実施場所を屋島に変更したことによって、体育祭についても保護者が観覧することができた。一方で、保護者の方に理解や関心をより深めてもらうためには学校全体からだけではなく、学級からの便りなどを定期的に発信することも必要ではないかと感じている。また「毎月のスケジュールをWebでしか見るしかなく、見逃しがちになる」とのコメントもあり、紙媒体での情報発信の有無を改めて精査していく必要があると感じている。
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開している	昨年度と比較して保護者の「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた評価（70.4%）が4%ダウンしたことを真摯に受け止めたい。教員の2回目での評価が約10%減少したことも併せて考えると、年2回実施している授業評価の効果が薄いと考えられる。また、コメントにもあるように教員間の授業への取り組み（教材研究や指導技術、統率力など）に温度差があることを示唆していると思う。新教育課程での授業が3年間のサイクルを終えるにあたり各教科・個人で振り返りを行い、前述の授業評価の項目の見直しを含めて、授業力向上のための手立てを講じなければならぬと感じている。その中で、3年生の保護者の「よくあてはまる」の割合が3年間で最も高く、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた割合（2.3%）が同じく3年間で最も低かったのは今後の励みになる結果であった。
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	昨年度に引き続き、ほぼ8割の保護者から「だいたいあてはまる」以上の評価を得たことは喜ばしい結果である。観点別評価は各教科で見直しをしながら3年目を迎え、同一コース内での公平性は以前より高くなっていると思われる。また、その評価方法に順応してきた教員が増えたと感じる。しかし、その一方で教員の2回目の「よくあてはまる」の割合が約11%という低い評価になった原因を追求していく必要がある。評価基準のアップデートを引き続き行い、生徒の学力向上や学習改善につながる評価になるように努めていきたい。
生徒指導	6	基本的な生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	生徒の指導（特に頭髮に関する指導）が厳しいという意見も保護者から寄せられている。頭髮に関しては本校生として求める気品のある生徒像と昨今の自由と自主性を求める風潮のバランスを取ることに苦慮しているのが現状である。校則の見直しを進めているところであるが、柔軟に時代に対応しつつ本校として求めている生徒を育てていきたいと考えている。服装や遅刻についてもタイムリーに対話を通して改善すべきことは改善を促し、その生徒の事情を考慮に入れながら指導をしている。本校は在籍数も多く、様々な事情を抱えた生徒がいる。一人ひとりをしっかりと見て、先入観や決めつけのないよう指導をしていきたい。
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	前年度同様、年2回のいじめ・悩みアンケートを実施している。日頃、言葉にできないこともアンケートという形を取ることによって気持ちを表すことが出来ていると感じている。自由記述欄に授業や人間関係のことを記入する生徒も多くおり、生徒指導と学年団で対応し早期発見と解決に努めている。また、スクールサインを引き続き実施して客観的な目で見た生徒からの多くの意見を聞き、生徒指導と学年団で対応している。スクールサインではスマホやネット上のトラブルも情報を寄せられており、大きな問題に発展する前に解決に努めている。しかし、いじめや人間関係に関わる内容は今年度も起きている。今後、担任面談を増やす等、生徒が相談しやすい環境を提供できるよう尽力していきたい。
進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	各学年ごとに説明内容・開催時期を考慮し、進路行事を行った。全体に対して学校説明会や小論文ガイダンス、進学模擬面接、合格体験発表会を実施するとともに、コースの特徴に合わせた推薦対策講座や文理選択のガイダンスを企画・実施した。保護者の「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」の合計割合は昨年度と同程度だが、「よく当てはまる」は3.5%増加した。少しずつでも満足度を高めていきたい。保護者コメントのなかに、「相談窓口や自分で調べられる場所があれば助かる」というものがあった。そのために以前から進路センターが存在しているので改めて生徒・保護者に利用を周知したい。就職では、ガイダンスや面接講習会で意識向上に繋げることができた。昨年度に続き今年度も企業の方や公務員関係の方を招いたガイダンスが実施できたので、就職への意欲を高めることができた。
	9	個々の適正や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができていく	職業と進路を結びつけるきっかけとして、1・2年生で適性診断を実施した。進学希望者には習熟度別授業や課外講座、各種模試を実施し、総合型選抜や学校推薦型選抜など受験種別に応じて個別指導を行った。「よく当てはまる」は昨年度比2.9%減だが、これは入試のさらなる早期化で、受験が10月11月に集中し、一人あたりの生徒にかけられる時間の余裕が減っていることと関連していると思われる。入試の早期化は三年担任・副担任の負担も確実に重くしている。そのため従来のような特定の教員だけではなく、3年生担当以外も含めた多くの教員が幅広く受け持つことで、学校全体で受験を支えていく体制をつくっていききたい。就職希望者には、就職課外、応募前職場見学などで個々の適性や希望に応じた指導を行っている。特に就職課外では、早期から進路選択の意識付けを行った。また生徒の進路に合わせて、面接や小論文の指導に担任と進学指導、就職指導が協力している。今後は進路に関する情報提供を、各学年の早期から実施し周知していきたい。

特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	大会等で好成績だったり印象に残る活躍をした部活動が今年度は多かった。そのため比較的高い評価を受けたのではないと思われる。また部活動に関連しているコメント内容が多かった。「公式戦の際に全校で応援に行くべき」、「弓道部やハンドボール部など今までなかった部を新設してもっと学校のアピールをすべき」というようなコメントもあり（実現は難しいと思いますが…）。部活動でもっと本校の認知度を高めてほしいという保護者の期待を感じた。
	11	生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	満足していると回答した方が比較的多かった項目である。その一方でコメントにある内容については、検討したい、改善したい点もあるが、現実的には難しい内容もあった。例えば、クラスマッチは出場できる選手を多くしたいが、クラスによって男女比や総数に差があるためにできる限り平等な条件にしようとするのが難しい面がある。試合に出られない生徒は無駄な時間を過ごしているという厳しいコメントもあった。文化祭等の行事については教員主導で進めているところが多い。行事が多すぎるという教員のコメントもあり、生徒が主体的に取り組むということが十分できていないために負担感が大きいのだと思われる。
	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	各学年ごとに人権に関するテーマを設定し、ロングホームルームで実施した。生徒一人ひとりの人権意識が向上するよう指導に努めた。今後の課題としては、現代社会の実状に応じたテーマ（例：性的マイノリティー、外国人、SNS上の人権侵害）など、考えるべきテーマが多く存在する。生徒の現状を踏まえて実施していきたい。人間関係の構築においては、ホームルーム活動や学校行事等を通して、生徒間及び、対教師を含め、良好な関係を構築できるよう生徒の実状に配慮しながら取り組んだ。
保健衛生	13	感染症防止対策の徹底や安全教室の実施など、生徒及び教職員の健康管理に努めている	今年度は2学期末試験の頃からインフルエンザが蔓延し複数クラスで学級閉鎖となり、修学旅行にも支障をきたした生徒もいた。学校における感染症対策を今一度しっかりと考えたい。今後は、校務支援システムを活用し、感染者が一定数を超えてきた時に放送や各授業時間での呼びかけ、保健委員による換気、消毒液の補充などをさらに徹底したい。また、生徒自身の危機管理能力を高め、新型コロナウイルス感染防止の際に得た知識を活用し感染症蔓延への対策としたい。
	14	校内の清掃美化や緑化活動を積極的にやっている	昨年同様、校内美化について、清掃が場所によって差があり不十分であると指摘をされている。保護者からも同様の意見をいただいております。清掃時間の見直しや大掃除の頻度を増やすなど様々な観点より検討する必要があります。さらに、生徒が校内清掃に積極的に参加し、環境美化の意識向上を高められるような指導を努めていきたい。また、緑化活動については、生徒の積極的な取り組みが見られ、季節ごとの花の植え替えなどの活動で校内を美しく保つことができた。
学校図書	15	適切な図書購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	学級文庫の取り組みを継続。他学年からも希望の学級が出たので、読書推進の活動として効果があったと感じている。新聞のオンライン利用サービスも導入。探究活動や小論文対策に、先生方や生徒に活用してもらえよう、もっと周知する。図書委員会は1年生のみの活動だが、図書を好きな生徒が2・3年生になっても携われるよう、今年度は改めて図書部を委員会と連動させて活動させた。今年度の部員としては10名、今後委員会のサポートと文化祭での展示に加えて、校外への発信も含めた英明高校図書館のSNSにも参加させていきたい。図書室の場所についての指摘はどうしようもない部分もあるので、生徒に足を運んでもらえる工夫を考えていく方向でなんとか対応したいと思う。